

MUFG・ユネスコ協会東日本大震災復興育英基金の平成24年度活動状況

平成25年3月29日

平成23年4月に株式会社三菱東京UFJ銀行と公益社団法人日本ユネスコ協会が共同で創設した『MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金』は、小・中・高校生への奨学金給付を柱とした基金です(平成25年2月末現在の奨学生は1,231名)。

当該基金は奨学金の給付のほか、津波被害や除染作業等で失われた学校の花壇を再生するボランティアプログラムや、奨学生の成長を応援する交流会の開催、奨学生のTOMODACHI I(*)・MUFG国際交流プログラムへの参加を支援しています。

平成24年度は5月から11月に、計12回、14校の小中学校等で花壇の再生を行い、三菱東京UFJ銀行を含むMUFGグループの役職員延べ360名がボランティアに参加しました。また、7月から8月にかけて2週間、奨学生8名を含む被災地の中高生20名および教職員4名が、米国カリフォルニア州のカルスバッドおよびロスアンゼルスでのホームステイや英語学習、企業訪問、現地コミュニティとの交流を行う第1回TOMODACHI・MUFG国際交流プログラムに参加しました。12月には、一般社団法人日本プロサッカー選手会が主催する仙台でのサッカーのチャリティマッチに被災地の奨学生17名を含む約30名を招待し、試合観戦の他、奨学生とプロサッカー選手が交流しました。

(*)三菱東京UFJ銀行はじめMUFGグループは、平成24年4月に東日本大震災からの日本の復興を支援し、長期にわたる日米間の文化的・経済的な結び付きを強化し友好を深め、両国の将来の世代に投資する官民パートナーシップであるTOMODACHIイニシアチブに参画しています。



<花壇再生ボランティア>



<国際交流プログラム>



<チャリティサッカー>

